

東京国税局管内納税貯蓄組合連合会 優秀賞

税金がもたらす幸せ

船橋市立海神中学校

第三学年 峯元佳穂

「税金は、僕を救ってくれたヒーロー」。そう思う人がいる。それは、ヤングケアラールである従兄の友達だ。

私は、税金に良いイメージを持たない人もいると思っている。私もその一人だからだ。私が住む街、船橋市では高校生までの受診料が税金のおかげで三百円であることや、公共施設、公共サービスなどの為に使われていることも知っている。しかしながら、細かな使い道を知らず、特別良いイメージを持っていなかった。

私とその従兄の友達を知ったのは、数カ月前の事だ。従兄と一緒にいる時に偶然会い、彼がヤングケアラールである事は後から知った。あまりヤングケアラールについての知識がなかった私は、母に説明してもらったことを覚えている。一般的にヤングケアラールとは、本来

大人がする家事や介護などを日常的に行う子供の仕事をするという。それを聞き、私は疑問に思った。親が働きづらい環境にいて、どのようにお金を得ているのだろう。彼は学生であり、野球部にも所属していた。一生懸命部活に励み、ユニフォームも自分自身で洗濯するなど、忙しい日々を送っているそうだった。そこで、生活費はどのようにしているかと問うと、

「税金からの支援金があるんじゃないかな。」と母は言った。「税金」その言葉を聞いた時、こんなところでも税金は使われているのか、と驚いた。

実際に調べてみると、今年の六月から船橋市ではヤングケアラールに向けて、税金により預かりや送迎サービスなどの無償化、相談窓口をつくるなどが行われていると知った。そこから私は税金に興味を持つようになり、詳

しく調べると中学校までの教科書の無償化や地域のゴミ収集など、身近な場面でも税金は私達の為に使われていることが分かった。私の知らない間で、税金は私達の為に役立っている。それを知ると税金のありがたみに気づくことができた。もし、ヤングケアラールへの税金からの支援や税金自体が無くなってしまうたら、どれだけ多くの人々が苦しみ、悲しむことになるだろう。多くの国民が税金を納め、税金に助けられて今、私達が暮らしている。それが、どれだけ幸せにも気づかされた。

今、私は税金に良いイメージを持っている。それは、税金と自分自身との関わり、そして税金のありがたみを知ることができたからだ。私は、暮らしやすさと幸せをもたらしてくれる税金に感謝しながら、暮らしていきたいと思う。